



# 社小学校だより

平成27年10月21日

文責 田中

## 学校オープンありがとうございました

2学期の学校オープンにご参加いただきありがとうございました。子どもたちの学校生活は大切な折り返し点をむかえています。一年の目標も半分程度達成できているのかを学びの姿からご覧になって声かけをしてください。そして、残り半年をさらに充実したものにできるようにご協力をお願いいたします。

## 転ばぬ先の杖は必要か・・・

2015年のノーベル医学生理学賞を大村智（さとし）北里大特別荣誉教授（80）が受賞されました。会見で、「私の仕事は微生物がやっている仕事をいただいたもの。私自身がこんな賞をいただいているのかな」と謙虚に受賞の喜びを語られる姿にまた感動した人も多かったことでしょう。

その大村さんが受賞当日の会見で、若者へ「絶えず失敗しないとだめなんです。成功した人は失敗のことは言わないんです。私もそうでしたが、成功の陰にはその何倍もの失敗がある。そのことを忘れないでほしいですね。」というメッセージを話されていました。「失敗は成功のもと」とは昔からよく言われる言葉です。失敗を糧とする生き方であると思っています。しかし、一方で失敗は「恥ずかしい・避けたい」というマイナスイメージでとらえる風潮もあります。建前では失敗は糧であると理解しつつも、本音では失敗を避け、即、成功に辿り着きたいという気持ちが先行するものです。

しかし、自分が求めてもいないのに、考えてもいないのに成功への答えを大人から教えられても、子どもたちは聞く耳を持たないし、理解できていないものです。理解していないから、いずれまた、同じ失敗をすることになるのでしょう。

子どもたちは日々集団生活の中で出くわす様々な失敗やトラブルを体験することで成長するものです。だから、適度な規模の集団が子どもの成長には欠かせないのだと思っています。しかしながら、私たち大人は、子どもたちが失敗しないように、困らないように、先々を考えて「転ばぬ先の杖」を持たせようとしています。

子どもに失敗させずに、正解や成果を求めるあまり、失敗を許さない窮屈な生き方を子どもたちに押し付けているのかもしれない。子どもたちにとって失敗が許されないもの・減点の対象としてしか認識されていないとしたら、これから夢に向かって突き進んでいく子どもには、大きな損失です。無意識に「間違っているかもしれないので、発言しない」「負けるかもしれないから挑戦しようとしなさい」などを口にする子どももいます。大人の意識として「けがをするかもしれないので、遊ばせない」「けんかをしないように、場所や用具を大人が決めておく」等もよくあることです。

昔の人は「子どもがこけて、こぶができると、そこから大きくなる」と・・・。これも失敗体験が成長の糧であると言いたかったのでしょう。今の子どもたちは失敗や挫折に弱いと、よく耳にする。子どもが変わったのではなく、子どもを見守る大人のゆとりが変わったのかもしれない。

子どもたちの現状に目を向けると、「転ばぬ先の杖」がいるものも確かに多くなりました。命等にかかわるものは無論のことです。忘れ物のように、低学年ではある程度「転ばぬ先の杖」が必要ですが、高学年は必要ないというように、年齢によって異なるものもあるでしょう。人間関係のトラブルは年齢を重ねるとどんどん複雑化しますが、低年齢ほど解決がはやいものです。

このように考えると失敗やトラブルは経験させなければならない年齢があるようです。成長には失敗はつきものです。初めからうまくいくことの方がむしろ少ないのです。私たち大人は、子どもが失敗の原因に気づくことができるように仕向けることが大切だと思っています。小学校だからこそ、この失敗を糧とする態度や価値観を身に付けさせたいと思うのです。そして、自分だけでなく友だちの失敗にも寛容で、温かく見守ることのできる子どもを育てたいものです。

どんな子どもに育てたいかを考えて、「転ばぬ先の杖」を持たせよう。

# 11月の行事予定

日(曜日)	行事予定	日(曜日)	行事予定
1日(日)	子ども美術作品展(市役所)	14日(土)	ごりょうがフェスティバル
2日(月)	やしろっ子委員会・委員会 3年親子活動 栄養教諭給食指導(5-1)	16日(月)	振替休業日
3日(火)	文化の日 6年親子活動	18日(水)	貯金日・時間割変更(月)
4日(水)	わくわく班(昼・掃除) 3年食育実習・6年振替休業日 栄養教諭給食指導(5-2・5-3)	19日(木)	やしろっ子委員会・4年おんかつ
5日(木)	H28就学時健康診断13:00	23日(月)	勤労感謝の日
6日(金)	お話会(3・4年) PTAごりょうが丘準備委員会	24日(火)	4年加東遺産めぐり 5年親子活動 6年出前授業(英語)
8日(日)	PTAリサイクル運動	25日(水)	3年社会見学 きらきら食育実習 5年鴨川小との交流学習
9日(月)	発表朝会(2・5年) クラブ活動 お話会(1・2年・きらきら)	26日(木)	5年鴨川小との交流学習
		27日(金)	5年鴨川小との交流学習
		29日(日)	PTAリサイクル運動予備日
		30日(木)	朝会・クラブ活動

## 加東市教育委員会からのお知らせ 小中一貫教育の推進について ～地域ごとに推進協議会を立ち上げます！～

加東市が推進している小中一貫教育の現在の状況について、お知らせします。  
8月24日の臨時教育委員会において、小中一貫教育研究会での議論を踏まえ、小中一貫教育の推進について、以下のとおり決定しました。

- 市内3地域ごとに小中一貫校を整備し、平成33年度に先行校を開校する。(※1)
- 設置場所は、次の場所を適切とする。なお、滝野地域は今後検討する。  
東条地域：東条文化会館周辺 社地域：社中学校周辺
- 整備順は、東条地域、社地域、滝野地域とすることが望ましいが、本年度末までに決定する。
- そのため、地域ごとに保護者、学校評議員、地域関係団体等の代表者による「**地域推進協議会**」等の検討組織を立ち上げる。

(※1) 当初の整備計画案では、平成33年度に東条地域、平成36年度に社地域、平成40年度に滝野地域としていましたが、先行校開校地域以外の開校計画については、地域の皆様のご意見を踏まえ、今後決定していきます。

また、本年9月の第62回加東市議会において可決された「**加東市公共施設の適正化に関する計画**」のうち、小中一貫校の整備に関する内容(一部)は以下のとおりです。

小中一貫校の整備順序については、東条地域、社地域、滝野地域の順を基本としますが、教育委員会との協議を踏まえ取り組むこととし、平成33年度に市内1校の開校を目指します。

※「第2章 公共施設の適正化に関する計画」内、「2 学校施設」(P. 4～5)より一部抜粋  
「加東市公共施設の適正化に関する計画」

☞ [http://www.city.kato.lg.jp/admin/koukyoshisetsu\\_tekiseikaplan.html](http://www.city.kato.lg.jp/admin/koukyoshisetsu_tekiseikaplan.html)

今後の予定としては、10月下旬から開催する**地域推進協議会**での意見を参考に、加東市教育委員会として、先行校の開校地域等、小中一貫校の整備計画を決定していきます。

【問い合わせ先：加東市教育委員会学校教育課 TEL 43-0541】  
※加東市教育委員会HPにも掲載しています。